

## 営農活動支援の事例（事例1）

市町村名 : 新篠津村  
活動組織 : 第5環境保全会（拓新農事組合）  
作物区分 : 水稲、大豆  
取組面積 : 7,691a

新篠津村では、平成19年度からの本対策の実施に当たり、水稲、大豆など19品目で営農活動支援に取り組んでいる。

水稲と大豆で営農活動支援に取り組む拓新農事組合では、土壌分析に基づく施肥設計を実施し、局所・側条施肥により化学肥料低減を図り、これによる窒素不足分については、有用微生物ボカシ肥料等有機質肥料への転換により対応している。また、種もみの温湯消毒の実施、カメムシ等害虫のすくい取り確認により多発時のみの農薬散布や生物農薬の活用により、化学肥料・化学合成農薬の5割以上低減に取り組んでいる。このほかにも、浅水代かきやあぜ塗りによる畦畔強化により、水環境にやさしい営農を実施している。



種もみの温湯消毒作業



有用微生物ボカシ肥料の製造



水稲栽培ほ場